

# 志賀原子力発電所 1号機

## タービン補機冷却水系配管からの漏えいについて

志賀原子力発電所 1号機（第13回定期検査中）において、2021年12月10日（金）20時頃、タービン補機冷却水系<sup>※1</sup>（以下「T CW系」という。）のサージタンク<sup>※2</sup>水位が低下していることを運転員が確認しました。

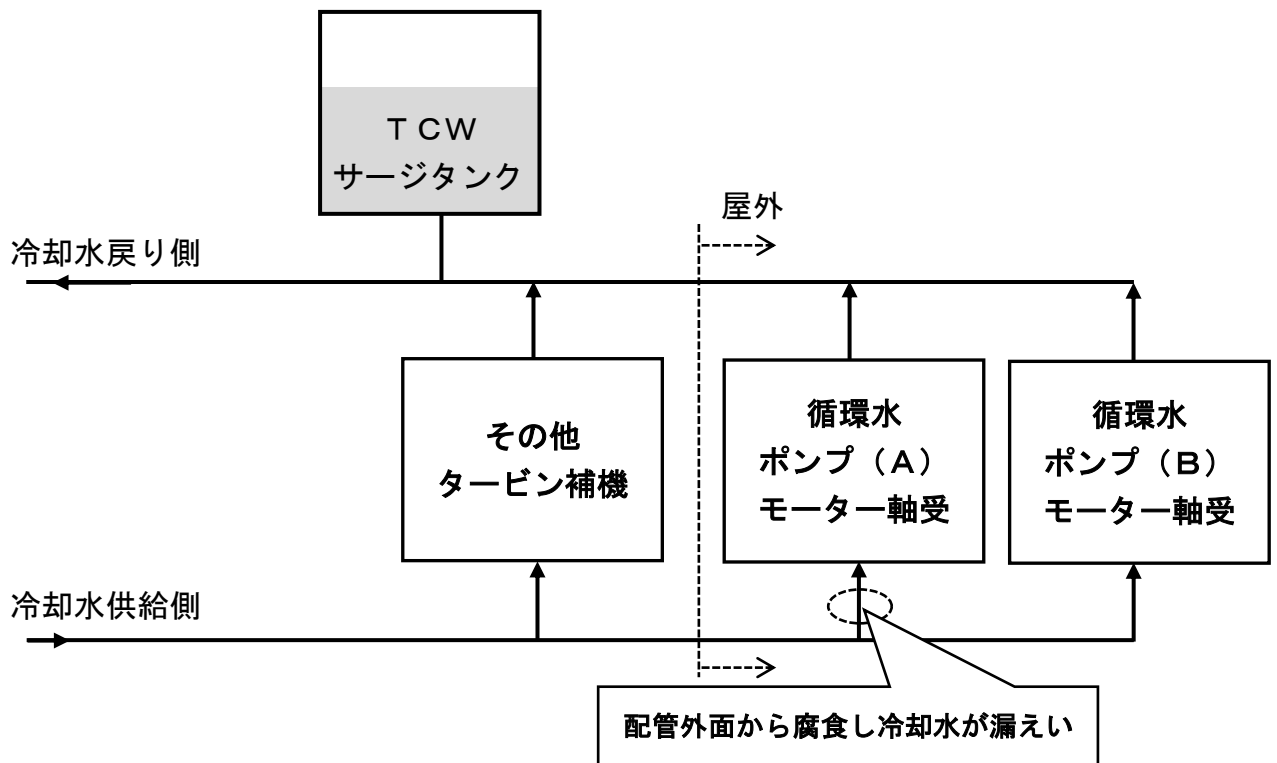
T CW系を調査したところ、屋外にある循環水ポンプ<sup>※3</sup>（A）のモーターの軸受に冷却水を送る配管から冷却水が漏えいしていることを発見しました。

T CW系を停止して漏えいを止め、その後、当該配管の閉止措置を施した後、T CW系を再起動しました。

調査の結果、当該配管を包む保温材の隙間から雨水が浸入して配管が外面から腐食し、漏えいに至ったものと推定しています。

なお、漏えいした水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。

- ※1 タービン関連の補機（ポンプ、モーター等）に冷却水を供給するための系統
- ※2 T CW系冷却水の温度変化による膨張・収縮の吸収等を行うためのタンク
- ※3 復水器に冷却水（海水）を供給するポンプで、プラント起動前まで運転しない



T CW系概要図